

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	706C/A	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：706C/A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

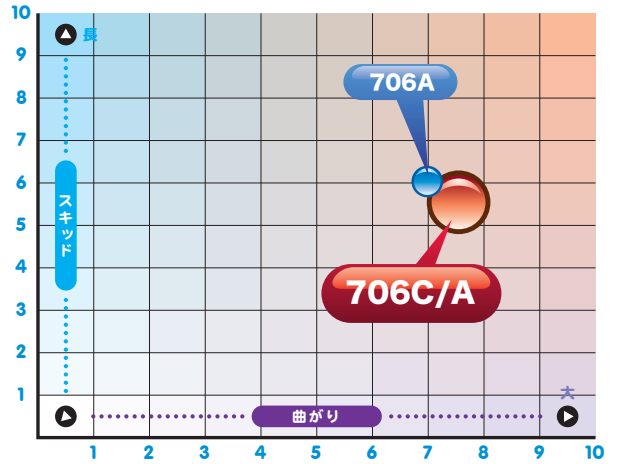
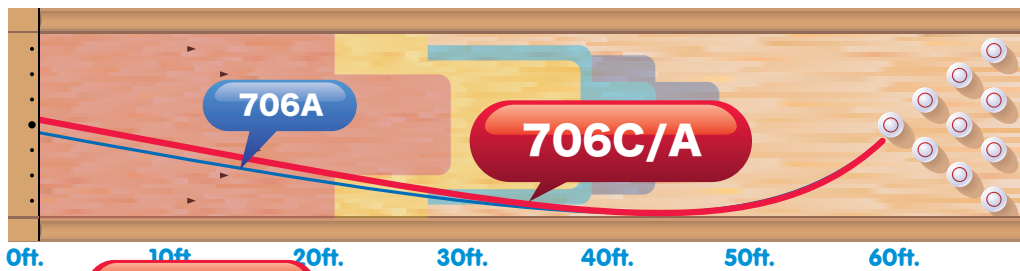
比較対照ボール：706A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

トラック社は評価の高かった706Aをバージョンアップさせ、706Aで得ることのできなかったミッドエリアでの強いキャッチからAngularなバックエンドモーションまでを見出せる性能領域を模索してきました。Angularなバックエンドモーション実現に必要なHelmetコアの継続的な採用、下二桁に示された”C”(Continuation)と”A”(Angle)双方を兼ね備えるだけの新しいカバーストックマテリアル。Upper Mid Performance領域でほぼパーフェクトに近い仕上がりでこの706CAがリリースされます。

トラック社が706CAの性能を可能にするために打ち出した”C”(Continuation)と”A”(Angle)との融合は、Gen XC (Xtra Continuation)カバーストックとGen XA (Xtra Angle)カバーストックとを掛け合わせHybrid化することで見出し、バックエンドモーションを意識できるHelmetコアがAngularというイメージを実現させてくれます。

私が投球した感想は、706Aと比べてかなりミッドエリアでの安定感が増していると感じました。ミッドエリアでのパワーが強くなった分だけバックエンドは減速するのかなと思いきや、グイグイとピンヒットまで駆け抜けるリアクションが印象的でした。抽象的ですがミッドエリアのキャッチと動きのイメージは私の気に入っていた716Cのイメージで、バックエンドのイメージは706Aみたいな、多分トラック社は私が感じたようなCのキャッチとコントロール性に長けた性能と、Aの鋭い入射角双方をバランスよく見出したかったのでしょう。私は投球してみて率直にそう感じる事ができました。

トラック社ナンバーシリーズをこよなく愛して頂いている方、716C・706Aが気に入って頂いた方、これからトラック社のボールを試そうと思われる方に是非おすすめしたいボールです。

特記事項

”C”(Continuation)と”A”(Angle)との融合で706Aの性能を飛躍的に高めることができた706CA。トラック社のファンでなくても満足させられる自信作です。